

# 代表質問

5会派の代表が行った質問の中から、いくつかを取り上げて要旨を掲載

すべての代表質問は市議会ホームページのインターネット議会中継で配信しています。

## 自由民主党岡山市議団

### 未来へ向けた予算編成

**問** 大森市政2期目となる平成30年度予算の重点施策と、予算編成の基本方針は。

**答** 待機児童対策は、31年度の解消に向けて、引き続き強力に推進する。また、中山間・周辺地域の振興、まちのにぎわいと魅力づくり、子育て、教育にも重点を置くほか、健康福祉や公共交通の充実、防災、環境、女性活躍などの諸課題にしっかりと取り組んでいきたい。

予算編成では、4～5年の中期的な見通しを立てつつ、10年、20年先の未来も予測し、過度な負担を将来世代に先送りせず、市民福祉の向上と活力ある都市づくりを進めていきたい。



昭和43年に建設された岡山市役所本庁舎

### 30年度から耐震化に着手

**問** 市役所本庁舎は、市民の安全を守るための拠点となる司令塔であり、危険な状況では市民の不安も募る。早急に建て替えに踏み切るべきではないか。

**答** 市有施設の耐震化は学校園を優先的に行ってきたが、平成29年度に完了するめどが立った。

また、本庁舎の耐震化には多額の事業費を要するが、行財政改革が功を奏し、財政的にも対応できるのではないかと考え、

進めるのは今だと判断した。

なお、25年度の調査で「耐震改修に比べ、中層での建て替えが<sup>※1</sup>ライフサイクルコストの比較から望ましい」との報告を受けており、時点修正しながら、30年度から耐震化に着手したい。

### 子どもの貧困対策の連携を強化

**問** 子どもの貧困対策推進本部を立ち上げ、関係機関が連携して支援することを決定したが、さらなる対策が必要では。

**答** 平成29年度から、離婚後の養育費の確保と面会や交流の推進を目的に、養育費・面会交流相談事業を立ち上げたほか、面会交流等に関する無料相談会を実施するとともに、啓発パンフレットを作成している。

また、各福祉事務所内にある地域子ども相談センターの子ども相談主事を3人に増員し、すべての市立小・中学校に月1回勤務することで、困難を抱える子どもの早期発見と、関係機関へのつなぎができてきた。

今後とも、体制強化を引き続き検討し、また、コーディネート機能の充実を図っていきたい。

### 放課後児童クラブの受け皿確保

**問** 在籍児童数が増加しているが、質の改善と量の確保を今後どのように図っていくのか。

**答** 質の改善については、放課後児童支援員等の資質や意欲の向上につながり、若年層の職業の選択肢の一つとなるよう、さらなる処遇改善を進めるとも

に、開所日時の延長や障がい児の受入体制の充実を図っていく。

量の確保は、平成31年度末までに利用を希望するすべての児童を受け入れるため、引き続き、計画的な整備に努めていく。

### あらゆる手段で

### 保育の受け皿を拡大

**問** 待機児童の解消に向けた取り組みと現在の状況は。また、平成30年4月の見込みは。

**答** 29年10月の待機児童数は652人で、4月の849人から197人減少した。30年4月に向けて1,500人分の受け皿の拡大を目指し、現在975人分の確保のめどが立っている。

引き続き、一人でも多く受け入れることができるよう、保育士確保の取り組みも含め、あらゆる手段を講じていく。

### 魅力の発信で移住・定住を推進

**問** 平成29年に「<sup>※2</sup>おかもぐらし移住の窓口」を開設したが、移住・定住施策の目標と今後の取り組みは。

**答** 本市では、32年の転入超過者数1,000人を目標値としている。

移住相談会でのさまざまな意見やアンケート結果を関係部署に情報提供するとともに、各部署の移住定住促進につながる施策を、ポータルサイト「おかもぐらし生活」やフリーペーパー、フェイスブック等で積極的に発信し、本市の魅力をPRしていく。

また、岡山県主催の東京・大阪・名古屋での移住相談会に参加するとともに、東京圏の移住希望者へは、「おかもぐらし移住の窓口」と県の窓口が連携して情報発信を行いたい。

#### ◆用語解説 ※1【ライフサイクルコスト】

製品や構造物を取得・使用するために必要な費用の総額。企画・設計から維持・管理・廃棄に至る過程（ライフサイクル）で必要な経費の合計額

#### ◆用語解説 ※2【おかもぐらし移住の窓口】

岡山連携中枢都市圏の取り組みの一つとして、岡山市・津山市など8市5町の合同相談窓口を、平成29年10月に東京都千代田区に開設し、移住コンシェルジュが相談対応を行っている

**水の安定供給と強靱性を確保**

**問** 社会インフラが老朽化する中で、水道施設もまとまった更新時期を迎えると言われている。災害対策など、水の安定供給に向けた施設整備の方針は。

**答** 施設の統廃合やダウンサイジング（管の口径や施設規模の小型化）などで投資の合理化を図った上、**※3**アセットマネジメント手法を活用して、効率的、効果的に施設整備を進める。

三野浄水場の更新や大口径管路の布設、老朽管の更新とともに、医療施設、災害時に拠点となる施設への管路の耐震化も進めていく。

**増加するインバウンド**

**問** 岡山型ヘルスツーリズム拠点化事業の一環で、マレーシアとインドネシアからの観光客誘致に成功したと聞いているが、その内容と他の成功事例は。

**答** 平成29年11月にマレーシアからの教育旅行で32人を受け入れ、岡山学芸館高校と学校交流が実現した。これまで、マレーシアの行政機関やインドネシアの教育関係者など、4件109人を受け入れており、28

年の両国からの岡山連携中枢都市圏の関係市町（岡山市・真庭市・吉備中央町）の宿泊者は1,772人で、目標の約1.7倍となっている。

また、台湾と香港を対象に行った宿泊促進キャンペーン等の取り組みも功を奏し、期間中の市内宿泊者数は、それぞれ対前年比約1.4倍と約1.5倍に増加している。



マレーシアとの学校交流の様子

**制度の運用で企業用地を確保**

**問** 本市が主体となった、先を見据えた新たな産業団地の整備が求められているのではないかと聞かれています。

**答** 現在、県と共同で空港南産業団地の整備に取り組んでいる。「岡山市市街化調整区域の地区計画運用指針」により、インターチェンジ周辺等や広域幹線道路に沿った区域で、農振法、農

地法等の法令に適合した場合は、土地所有者等の発意で企業用地の整備が可能となっており、良好な用地を確保していきたい。

**池田動物園の未来を考える会に岡山市も参画**

**問** 以前の定例市議会で「岡山市も株主の一員として議論を重ね、適切に対応する」と答弁があった。その後、株主会議や議論する場はあったのか。

**答** 平成29年10月の(株)池田動物園の取締役会で、「池田動物園の未来を考える会」が29年中にも設立される方針が決定された。市も参画してもらいたいとの依頼があり、産業観光局長がメンバーとなる意向を伝えた。

会が設立された場合、本市としての意見を述べることになる。

**エアコン設置に向け方針を**

**問** 学校へのエアコン設置を要望してきたが、前向きな姿勢が明らかになった。今後の方針は。

**答** 外部有識者の意見も聞きながら、検討会議で議論を重ねられた。平成30年度の予算編成にあたり、会議での議論や方向性を尊重しながら、市の方針を取りまとめたい。

## 公明党岡山市議団

**住み慣れた地域で暮らしていける計画を**

**問** 地域の課題解決を担う人材の育成と仕組みづくりや、生活上の困難を抱える人へ縦割りを超えた総合的な支援体制を構築するため、包括的な地域共生社会推進計画の策定が急務では。

**答** 「誰もがその人らしく生活するための多様な選択ができるまち」を目指す地域共生社会推進計画の策定を、平成29年度

中に予定している。

この計画は、各分野で共通して取り組むべき方向性や施策を定め、保健・医療福祉分野の個別計画の上位計画として位置付けており、この計画を踏まえ、各個別計画の策定や施策を推進していく。

**30年度から保険料率を改定**

**問** 平成30年度から**※4**国民健康保険の財政運営の責任主体が県へ移行するが、今後も国民健康

保険料を上げない方向で検討するべきではないか。

**答** 本市の国保財政は、医療費が増加する中、被保険者の減少で保険料収入は減少し、保険料率を据え置くと収支不足の拡大が見込まれる。今、保険料率を変えなければ、今後、料率改定をする際の上げ幅が拡大し、後の世代の負担が大きくなるため、改定の必要がある。

また、赤字補填目的ではない一般会計からの繰り入れはしっかりと確保し、医療費適正化を進めていく。

**◆用語解説 ※3【アセットマネジメント手法】**

所有している資産を適切に評価した上で、施設の更新と修繕による長寿命化を比較し、最小の費用で安全かつ適正な機能を維持するとともに、重要度・優先度を踏まえた更新投資の平準化が可能となる手法

**◆用語解説 ※4【国民健康保険財政運営の都道府県化】**

制度の構造的な問題解決のため、国の財政支援の拡充や県が財政運営責任を担うようにするなど、制度の安定化を目的とする。保険料率の決定や保健事業などの事務はこれまでどおり市町村が行う





北区幸町にある西川アイプラザ

### 西川アイプラザに 公民館振興室を設置

**問** 中央公民館の廃止にあたり新たに公民館振興室を設置するが、担うべき役割や職員体制は。

**答** 当面は、事業方針等を示して公民館を指導・調整しながら、全体の底上げを図り、平成30

年度以降、公民館のあり方を考えていく中で、今後の役割を整理検討していきたい。

また、今後充実強化していくバックアップ・総合調整機能等を勘案の上、専門知識等を持つ職員の配置も含め検討している。

### 手話言語等に関する条例制定へ

**問** 手話言語条例は着実に全国に広がりつつあり、多くの自治体で制定されている。本市でも検討すべきでは。

**答** 平成28年4月の障害者差別解消法の施行に伴い、各区役所に手話通訳者を配置するなど対応してきたが、手話をはじめとするコミュニケーション手段の重要性を広く市民に周知する

ため、30年4月の手話言語等に関する条例の施行に向けて、準備している。

### ふれあい収集を順次拡充

**問** ごみ出しが困難な高齢者や障がい者の自宅で収集する「ふれあい収集」を、モデル地区を決めて実施しては。

**答** 本市では、現在、介護保険の要介護3以上及び視覚障害や肢体不自由障害2級以上の人のうち、単独の世帯など、ごみ出しが困難で、要望のあった約170世帯を対象に実施している。

今後は、平成30年度後半に要介護2以上、31年度には要介護1以上まで対象者を拡充し、サービスの拡大を図りたい。

## おかやま創政会

### 安心して子どもを 産み育てられる環境づくり

**問** 「おかやま産前産後相談ステーション」は、出産前から出産後まで一体的に支援する相談窓口で、子育て支援の重要な拠点だが、市内に1カ所しかない。身近な相談場所として各保健センターに設置すべきでは。

**答** 多くの妊婦やそのパートナーは、妊娠や出産、育児、自分たちの健康・生活面での不安を抱えている。妊娠届け出時の機会を活用し、早期に課題等を把握し相談することが重要だ。

ステーションでの相談件数が増加している中、すべての妊婦が、より身近な環境で助産師等の専門職とつながることが効果的であり、保健センターへの設置を検討していく。

### プレ事業の展開や建設予定地との連携で文化芸術の振興を

**問** 平成34年の新しい文化芸術



新しい文化芸術施設の整備が予定されている千日前エリア

施設の開館にむけて、遅くとも開館3年前から市民を巻き込む事業の実施が必要では。また、建設予定エリアの活性化に向けた連携についての考えは。

**答** 全国的に活躍している有識者に意見を聞きながら、事業を検討している。文化団体や周辺地域と連携した事業の展開や、子どもや若者が来館する仕組みづくり、作品を創る活動を市民に広げていくため、早い時期から段階的にプレ事業を展開することが重要と考える。

立地エリアでは、空き店舗活用や商店街と町内会が連携した

動きも出てきている。地元と連携した事業についても、具体的な手法や内容を検討していく。

### 入学前支給の実施を目指す

**問** 就学援助制度の新入学児童生徒学用品費の支給時期を早めるという議論があったが、今後の展望はどうか。

**答** 小・中学校ともに、入学前の支給に向けて、時期や方法などを具体的に検討している。平成31年度新入学予定者を対象に、30年度中の支給実施を目指す。

### 防犯カメラの設置を支援

**問** 平成28年度に設置支援事業は終了したが、設置を要望する団体が増えている。地域防犯力を強化するためにも事業を復活させる必要があるのでは。

**答** 複数の地域から、安全・安心のために防犯カメラを設置したいとの要望を聞いている。具体的な設置箇所と状況を調査する必要があるが、必要性が認められた場合は、ぜひ支援していきたいと考えている。

## 日本共産党岡山市議団

### 保険料引き下げの 予算措置は困難

**問** 国民健康保険料を引き下げ  
るため、本市独自の予算措置を  
すべきではないか。

**答** 国と県は、**※4**都道府県化に  
際し、公費の拡充をしつつ、赤  
字補填目的の法定外繰り入れの  
解消・削減の方針を示している。  
加えて、今後の国保財政は、収  
支不足が拡大していくことが見  
込まれている。

本市も平成30年度から、赤  
字補填目的の法定外繰り入れの  
解消に向け、保険料率を改定し  
ていく必要があり、保険料を引  
き下げるための予算措置は困難。

### **※5** #8000を積極的に周知

**問** 利用状況はどうか。

**答** 本市を含む県南東部地域で  
の利用件数は、平成26年度の  
5,666件に対し、28年度は  
8,513件と2年で3,000件近く

増えている。

本市では、子ども医療費の資  
格証を発送するときにチラシに  
記載するなど、#8000の積極  
的な周知に努めている。



#8000を周知するチラシ

### 放課後児童クラブ 理解を得ながら平準化

**問** これまで目指してきた運営  
の平準化の内容は。また、一斉  
に移行するスケジュールは考え  
直すべきでは。

## 市民ネット

### 各区で問題解決ができる 仕組みづくりを検討

**問** 都市内分権の促進を訴えて  
きたが、その一つが区への権限  
や財源の移譲だ。分権をどのよ  
うに進めてきて、これから何を  
求めていくか。

**答** 平成27年度から一定の枠  
組みの中で、区から直接予算を  
要求できる仕組みを取り入れ、  
予算権限を拡充してきたが、各  
区が取り組んでいる事業の特色  
が見えていないところもある。

今後はできるだけ各区でさま  
ざまな問題解決ができるような  
仕組みや体制を考えていきたい。

### 保護者の負担を減らす対応を

**問** 医療的ケアが必要な子ども  
の保護者に学校での付き添いを  
求めているが、看護支援員や関  
係者の連携をもとに、付き添い  
をなくせるのではないか。

**答** 安全で安心して学校生活を  
送れるよう、必要に応じて付き  
添いをお願いしている。こうした  
ケースでは個別の判断が必要  
となるため、検討会議で議論し、  
保護者が付き添わない時間を設  
定するなどの対応を行うケース  
も出てきている。

### 持続可能なまちづくりに向け

**問** **※6** SDG s の要素を各種計

**答** 岡山市児童クラブ連合会と  
本市で定めた「運営委員会方式  
による放課後児童クラブの標準  
基準」に基づき、開所時間は午  
後6時までとすることや、保護  
者負担は月額6,000円とすること、  
入所を決定する際の優先項目等  
について、各クラブの理解を  
得ながら平準化を進めている。

一部試行も視野に入れたスケ  
ジュールの検討など、一部見直  
しを図って取り組んでいきたい。

### 広域的なDV相談の受け入れ

**問** DV（ドメスティックバイ  
オレンス）対策でも岡山連携中  
枢都市圏で中心的な役割を果た  
すべきではないか。

**答** 本市は圏域の市町で唯一、  
配偶者暴力相談支援センターを  
設置しており、近隣の市町も含  
め、広域的にDV相談を受けて  
いる。

県の女性相談所や配偶者暴力  
相談支援センターとも連携し、  
今後も圏域で中心的な役割を果  
たすよう努めていく。

画や戦略等へ反映させては。ま  
た、実現に向けて総合的な計画  
を作成し、諸施策に具体的指標  
を導入しては。

**答** 第六次総合計画で示す三つ  
の将来都市像に向けた各分野の  
具体的な施策は、多くの部分で  
SDG sの17の目標、169のタ  
ーゲットに関連しており、この  
計画を進めることがSDG sの目  
標達成につながると考えている。



岡山市で開催されたSDG sに関連する世界会議

### ◆用語解説 **※5** 【#8000「小児救急医療電話相談」】

子どもの夜間急病時の対応方法などについて看護師などが  
電話で相談に応じ、医療機関への受診等についてアドバイ  
スする岡山県が実施している事業

### ◆用語解説 **※6** 【SDG s (Sustainable Development Goals)】

2015年9月の国連総会で採択された国際目標。国連の加盟国は2030年までに  
貧困、飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会など持続可能な開発のため  
に目標を達成すべく力を尽くすことを約束している